
魔物はつらいよ

まぐろかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔物がつらいよ

【Nコード】

N7250H

【作者名】

まぐろかん

【あらすじ】

リザードマンになって早3年。相変わらず世間は僕に冷たい。魔物の驚異にさらされた人間達が世界を救おうと同志を集め各地を冒険している時代。一人の冒険家を襲った悲劇。それは目の敵である魔物になったという事実。これは何かの陰謀？神の戯れ？それとも…果たして彼は元の体に戻るのだろうか？プロットしか作らない作者が、ちとやる気を出して書いたライトファンタジー。読んでいただければ幸いです。

プロローグ

年がら年中薄暗い森の中、縦横無尽に生える木々の奥、寂れた遺跡がひっそりと佇んでいる。

湿った森の雰囲気をかき分けて一迅の風が遺跡に向かっていく。

遺跡の最奥、神聖な祭壇の空気を入れ換えた風はいつものように祭壇の手に落ちていくボロボロの手帳を手に取った。

風は腫れ物に触るかのようにその手帳を一枚一枚めくる。ひとつだけしっかりと折り目のついたページまで行き着くと今日も手帳に殴り書かれた文字を読んでいる。

*月*日

マイセン遺跡に足を踏み入れて8日目。遂に目的の勇者の剣を見つけた。

後は剣にかけられた魔法を解くだけである。

使い込まれた感のある手入れの行き届いた柄と、神々しく輝く刃は見るものに畏怖の念を抱かせる。

周囲に目を移すと、剣の祀られている祭壇は精霊が佇んでいるような澄んだ空気に包まれ、近寄りたがたい雰囲気を醸し出している。

冒険家になるといつて15で村をでてから早10年となるが、当時の僕に今の状況は考えられただろうか。

この剣が見つかったことで、今までおとぎ話でしかなかった勇者の伝説が実際の出来事であることを立証出来る。

さらに、この剣は今も世界中に蔓延る魔物に対する牽制にもなる訳で、世界的な大発見であること間違いなしの一品。そんな宝を発掘出来るなんて冒険家冥利に尽きる。

とにもかくにも剣にかかった魔法を解かない限り持ち出すことは不可能な様だ。

呪文の形式は古いものだが、特別珍しい訳でもない。

さっさと解呪して伝説の剣の重みでも味わいたいものである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7250h/>

魔物はずらいよ

2010年10月28日03時35分発行